

地理は小粒でもピリリと辛い

内田 和子

既にご案内のように、岡山大学文学部は2004年4月から人文学科1学科となり、その下に哲学・芸術学、行動科学、歴史文化学、言語科学、言語文化学の5つの専修コースが設けられました。改組に伴い、地理学という名称は表面からは姿を消しました。これは他の教室でも同様です。学生は文学部の学生として一括した形で入学した後、1年次は基礎科目1（大学での勉強の基礎となる方法・技術や知識等）、基礎科目2（専門科目の基礎）、基礎科目3（各コースの入門講義）という新たな必修科目を履修した上で、2年次から志望に基づいて専修コースに所属します。専修コースにおいては、たとえば行動科学専修コースを例にとると、そのコースにある心理学、社会学、文化人類学、地理学などの多様な授業を履修して、最終的にはどれかの学問分野で卒業論文を書きます。もちろん、地理で卒論を書くためには、必要最小限の関門を設け、地理学の基礎から野外実習や演習までの段階を踏まえるようになっています。

この他に、文学部には英語、ドイツ語、フランス語、中国語の副専攻コースも設けられました。どの専修コースからも、外国語の実践的コミュニケーション能力を養うこれらの副専攻コースを選択することができます。

以上のことからおわかりのように、新しい文学部では、専門的知識も修得しますが、従来の学問の枠組みにあまりとらわれずに、様々な分野との連携を積極的に模索し、柔軟で幅広いものの見方を身につけた新しい人間像の構築を目指すことになりました。こうした動きは、九州大学の21世紀COEプログラムの中で取り組まれていますマッチングプログラムによる新たなゼネラリストの育成にも通じるものと思われます。もちろん、このような目標を掲げることに

は学部内でも賛否両論があり、昨年夏の高校生に対する説明会でも高校の先生方に対する説明会でも様々な意見が出ました。

しかも地理学教室では中藤先生のご転出の後、そのポストが奪われ、2人体制になるという悲劇にも見舞われました。これは教養部の解体の際に、文学部は学生定員を増やさないまま移籍された先生方を受け入れたため、移籍された大部分の教員数がそのまま過剰定員扱いとなってしまったからです。過剰な定員を減少させるためには、転出や退官後のポストを削減することがもっとも容易い方法のため、地理のみならず、心理学でも西洋史でも定年退官者のポストが削減されました。国立大学においてもリストラが着々と進行しているのです。

しかし、悪いことばかりではありません。地理は史学科から出て心理や社会学等と同じグループに属すようになって10年近くになります。最初の頃は学生の希望が心理学ばかりで、地理は心理に入れなかった学生を受け入れていましたが、このところようやく第1志望と第2志望で定員が埋まるようになりました。地理を志望する学生の中には、高校で地理を学習していないものも多く含まれ、これらの学生は大学に入学後に地理の授業を履修して地理で卒論を書くことを決めているのです。そして、地理は文学部の中では就職に強いとも言われています。これらのことを都合良く解釈すれば、日頃の地理学スタッフの努力が少しずつながら、報われてきたようにも思えます。

そして、地理学のスタッフは、別のページにも一部記してありますように、多様な研究活動や社会的貢献も行っています。スタッフの活動を通じて、学生も地理学が社会に役立つ学問であることを実感してくれればと思います。

末筆ながら、今年度は地理学教室関係で3人の修士課程修了者と2人の博士学位取得者がでる予定です。少ないスタッフで大学院の指導も順調に成果を上げています。大学院は昼夜開講制ですから、社会人にも門戸が開かれています。大学院にご関心をお持ちの卒業生の方々は是非、ご相談ください。

以上のように、岡山大学文学部地理学教室をとりまく状況は大きく変化しました。しかし、教室が消滅した訳ではなく、実際には毎年、地理を志す学生がやってきて教室が存続していきますので、今後とも卒業生の皆様のいっそうのご支援とご鞭撻をお願いいたします。

教室動静（2004年1月～2005年1月）

●教職員の異動

2004年4月に中藤康俊先生が中部大学へ転任されました。

●学部卒業生と進路

2004年3月に学部生8名が卒業しました。

- ・井手 貴文（いで たかふみ）
- ・岡本 健裕（おかもと たけひろ）
岡山大学大学院教育学研究科
- ・赤沢 佳恵子（あかざわ かえこ）
金融関係
- ・池田 開（いけだ かい）
- ・金瀬 祐子（かなせ ゆうこ）
金融関係

・延崎 亮（のぶさき りょう）

・原田 貴己（はらだ たかみ）

・李 建輝（り けんき）

岡山大学大学院文化科学研究科博士前期課程

●新たな構成メンバー

2004年4月に10名の2回生が教室の構成メンバーとして加わり、学部生は24名を数えるまでになりました。

●地理学野外実習

2004年度は高梁市を対象地域として調査を進めております。また、夏期休暇中には箱根を中心に関東地方へ巡検にまいりました。

教室構成メンバー

氏名（よみ・出身地・出身校）

●教授

内田 和子（うちだ かずこ）

本年度は入試委員長のため、夏休み中はオープンキャンパス、入試説明会など、冬期は入試関連業務と、大学に貼り付けられていることが多い日々です。その上、秋には「ため池フォーラム in おかやま」のシンポジウムコーディネーター、日本学術会議人文地理学研究連絡委員会シンポジウムのパネラー、横浜開港資料館での鶴見川の講演、1月には国連防災世界会議

での発表などがありました。そのため、新潟、福井等の大水害については、とうとう調査にいくことができませんでした。県内の高潮による被害についても未調査です。この他、岡山県内では水害ハザードマップ関連の仕事が多くなっています。災害の多発に刺激されて地理学の研究を志す学生さんが多くなると良いのですが・・・。

●助教授

北川 博史(きたがわ ひろふみ)

今年度は各種委員などに振り回される毎日ですが、暇をみて、神戸、松江・米子、高松、広島を歩いております。交通結節点としての岡山の利点を十二分に活用しております。ただ、日帰りするには少々遠く、この距離を克服するための時間とコストが最大の問題です。

●博士課程

山野 明男(やまの あきお・丸亀市)

文化科学研究科に在籍し、干拓地の研究に取り組んでいます。

●修士課程 M2

三浦 宏(みうら ひろし・東広島市・甲南大)

卒業論文の調査で中国山地に行きつて以来、その自然環境・風土に惹かれています。このまえ、(2年も留年して)ようやく修士論文を提出することができたのですが、そこでも中国山地に残されている大田植というお祭りを取り上げて、儀礼と地域社会との関係を論じてみました。これからは、いろんなことに興味・関心が持てるように、中国山地以外の土地にも行ってみたいと思っています。どうかよろしく願いいたします。

黒田 賢一(くろだけんいち・岡山市・関西大)

学者を目指し、会社を辞めて大学院に入りましたが、36歳という年齢もあり、ここでまた岡山の物流会社に就職することになりました。岡山大学の大学院に入学できなかったら、一生、「大学院に行きたかった。」とおもいつづけていたでしょう。そのおもいをかなえて下さった先生方に感謝しています。

将来の事はまだわかりませんが、機会があれば、また勉強したいと思っています。

みなさん、ありがとうございました。

田 明霞(た めいか・中国河北省石家庄市・

中国河北師範大学)

『世界一の「庄」』 私の出身地は中国石家庄市です。石家庄市は河北省の首府で、人口260万人の町です。中国では町名をいう時、市をいつも省略しています。初めて石家庄を聞くと、田舎だと思ふ人は少なくありません。なぜかという、「庄」は中国では田舎の小さい村という意味でよく使われています。石家庄は中国一番大きな「庄」と呼ばれて、世界一の「庄」といっても過言ではありません。石家庄市の人々は地味な町名通りに非常に優しく、素朴です。

●博士課程前期 M1

李 建輝(り けんき・中国河南省洛陽市・鄭州工業大学)

「光陰、矢の如し」、日本に来てから早くも6年が経ちました。日本語学校、そして岡山大学文学部での勉強を経験して、去年の4月に岡山大学文化科学研究科に進学することができました。しかし、時間を無駄に過ごただけで、学問分野と人生の成長について、なかなか感じられませんでした。こんな時、能力のある限り頑張らないといけないという気持ちで一杯になります。

この6年の間、私は何回も帰国しました。帰るたびに、むこうの変貌っぷりに驚きます。この日々の変化が激しい時代に遅れないように精一杯頑張りたいと思います。

●大学院研究生

水上 崇(みずかみ たかし・神奈川県葉山町・早稲田大)

研究は、岡山県を含め西日本に広く分布する天井川について、その地形的な特徴を考察しています。

なお、天井川に関連する人工地形について、ごくわずかですが執筆する機会を得ました。この内容については、日本の地理に関する雑学本の一部に収められて、今春～今夏頃に発売されることが決まりました(日本実業出版社より)。

また、研究と併せて全国各地を歩いておりますが、昨年4月の宮崎県訪問で念願の全都道府県完訪を果たしました。

木村 久(きむら ひさし・岡山県早島町・倉敷天城高)

地理が好きという理由で教室の先生方のお世話になっています。有難うございます

「肝臓が目立つね。」超音波検査でこう言われて以来、量は減りましたが、結構いけるクチです。有名な広島と兵庫とに挟まれていて目立ちませんが、岡山もなかなかの酒どころだと思います。喜平君という友人は、喜平酒造の新酒発売記念に応募して一升酒を1ダースもらい、一緒に飲みました。理由を見つけては飲んでいきます。やはりお酒はいいですね。つまらないことを書いてすみません。よろしく願いいたします。

● 4 回生

岩本 愛子(いわもと あいこ・松江市)

尾山 裕子(おやま ゆうこ・岡山市)

夏 茂林(か もりん・中国内蒙古自治区)

小西 章太(こにし しょうた・八千代市)

沢根 真理子(さわね まりこ・倉敷市)

● 3 回生

梶木 友紀子(かじき ゆきこ・加古川市・加古川西高)

地理学教室3回生の梶木友紀子です。3回生ということで只今就職活動中です。就職活動ではいろんな人に出会いますが、この間、面接会場で話をした子は、話題の奈良県の平群町出身の子でした。色々話をして仲良くなったのですが、結局、携帯番号の交換もせず別れました。

縁あって入った地理学教室で過ごすのもあと

1年。もう少し出会いを大切に、毎日を過ごさなくてはと考えている今日この頃です。

近藤 麻衣子(こんどう まいこ・枚方市・寝屋川高)

転勤族の娘です。自称大阪出身の関西人ですが、生まれは関東、本籍は九州です。先日帰省した時に、父が「海の近くに引っ越したい。」などと言っていました。いよいよ自分の故郷がどこなのか分からなくなりそうな今日この頃です。

崔 京浩(さい きょうこう・中国吉林省延吉市)

塚本 僚平(つかもと りょうへい・香川県琴平町・丸亀高)

昨年度は一年間休学していましたが、今年度から復学し、新たな気持ちで地理学に取り組んでいます。

信清 由希子(のぶきよ ゆきこ・高梁市有漢町・高梁高)

昨年の夏から添乗員(見習い)のバイトをしています。主にお遍路さんのツアーに添乗しています。「旅行気分も味わえて一石二鳥」と思ったのですが、せっかくお寺に着いても納経に追われてゆっくり見学できないのが残念なところです。そして秋には高野山へ旅行したりと、なにかと空海に縁のある年でした。今年は愛知県で開かれる万博に行きたいです。

松本 充康(まつもと みつやす・神戸市・六甲アイランド高)

最近、我が愛車、サニーの調子が悪い。12月に車検に出したばかりであったが、先日、学校から帰宅途中にけたたましい音とともに動かなくなってしまった。現在、私はその修理費と車検代のローンとまた止まってしまうのではという恐怖に追われて暮らしています。

丸山 哲史（まるやま てつし・尾道市）

村山 友美子（むらやま ゆみこ・鳥取市・鳥取西高）

3年になって、授業が終わるとラケットを持って外に飛び出すようになりました。雨風にも負けず学部棟下でバトミントンをしています。最近は寒いので、外には出ず、似顔絵を描いて遊ぶようになりました。

山下 千佳（やました ちか・観音寺市・観音寺第一高）

香川県では、あんこ餅入りのお雑煮を食べます。他県の人にはなかなか受け入れてもらえませんが、とてもおいしいです。今年は自分で作ってみました。

● 2 回生

今西 恒平（いまにし こうへい・神戸市・神戸高）

実は今も、実家のある神戸市灘区から、毎日元気に新幹線通っています。確かに通学距離は果てしなく遠いですが、通学時間はジャスト1時間と、そんなに苦になりません。最近では遠距離通学もすっかり慣れ、自分なりの新幹線での過ごし方を満喫しています。とは言っても、ほとんど寝てばかりですが（笑）

趣味は音楽鑑賞、映画鑑賞、テニス、お笑いを観ることです。

地理学には、入学当初から興味があって、今の地理学コース専攻に至っています。まだ、論文に結びつけるような、調査したい事例が見つかりませんが、これから積極的に模索していきたいと思います。よろしくお願いします。

大江 昌友子（おおえ まゆこ・香川県宇多津町・丸亀高）

私が最近したいと思っていること、それは旅行です。今まではそんな願望あまりなかったん

ですけど、地理学教室にきたことが影響しているのでしょうか。地図とか時刻表とかガイドブックとか見るのが大好きで見知らぬ土地への思いを馳せています。まだパスポート持っていないんですけど、近いうちに海外旅行に行きたいです。今学校でドイツ語とイタリア語を習っているので、それを活かせたらと思っています。学生のうちに色々なところに行って「趣味は旅行」って言えるようになりたいです！！

岡田 純佳（おかだ よしか・福山市・神辺旭高）

去年の夏休みに、生まれて初めてディズニーランドへ行きました。待ちに待った当日、夜行バスを降りてテレビで見た光景と同じものが目に入ったときはちょっと感動してしまいました。とても暑かったのですが、仲の良い友達と楽しい思い出を作れてよかったです。それ以来、ディズニーにすっかりハマってしまいました。そして今、春休みに再びディズニーランドへ行こうと計画中で、とても楽しみです。

川道 弘太（かわみち こうた・広島市）

志智 佳祐（しち けいすけ・三木市・小野高）

趣味は釣りです。各地の池、川、ダム、海を転々としています。大学在学中の目標は全国各地に点在する釣具店「ポパイ」全店のステッカーを集めることです。

松岡 和弘（まつおか かずひろ・呉市・修道高）

はじめまして。今年度から地理学教室に入りました、松岡和弘です。地理学教室に入ってからもうすぐ1年が経ち、この教室の雰囲気にも慣れてきました。あまりに居心地が良いので、研究室にいる時間が家にいる時間より長くなっているときもあります。良い先生、先輩、友達に恵まれ、充実した毎日を過ごしています。去年は地理学野外実習で箱根に行き、楽しい思い

出づくりをすることが出来ました。今後ともよろしく願います。

矢野 加奈(やの かな・高知市・土佐高)

私の大学生活ももう残り半分ぐらいになってしまいましたが、2004年は20年間生きてきて一番楽しかったといってもいいくらい素敵な一年でした。今年はもっといい年にしたいです。そして今年こそ、車の免許が取れたらいいなと思っています。1年生のときの暇だった時間があったいいです。それにもっといろいろ旅行すればよかったです。残りの大学生活はもっといろいろなところに出かけてみようと思います。近いうちに海外旅行もしたいです。

吉井 由美子(よしい ゆみこ・倉敷市・玉島高)

はじめまして、私は2回生の吉井由美子と申します。地理学教室に入ってはや1年が経とうとしています。この地理学教室に入って1番よかったと思うことは、様々な県や国の出身の方と出会い、その考え方に触れることができたことです。私は生まれてから今までずっと岡山県に住んでおり、かなり狭い視野しか持ち合わせていませんでした。(大学も県内の大学に行くことしか考えていませんでした(^_^;)。)しかし、この1年で様々な経歴を持った方と出会えたことで、ずいぶん刺激を受けました。これから

多くの方とお会いし多様な価値観に触れることで、自分の視野を広げていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします(#^.^#)。

吉村 理恵(よしむら りえ・徳島県羽ノ浦町・富岡西高)

はじめまして、吉村です。私は音楽が大好きです。去年の夏は新潟の苗場スキー場で開催された音楽祭、フジロックフェスティバルに行ってきました。フジロックフェスティバルでは三日間にわたり国内外から参加した様々なジャンルのアーティストが演奏します。自然と音楽に囲まれてキャンプをしながらすごした三日間はほんとうに楽しかったです。今年も夏が待ち遠しいです。

和田 優美(わだ ゆみ・島根県・松江北高)

岡山市在住一人暮らしまる2年ですが、最近運転免許を取るため、ちょっと休みがあるとすぐ実家に帰っています。MTで取るつもりが全然進まなくてATに変更してしまいました。

暇な日はアンケート調査のバイトなどしています。見てると世の中いろんな調査があるんだなあと思います。

休みの日はたまに遠出します。川とか城とか広々したところが好きです。まだまだ日本全国いろいろなところにいってみたいです。

2003年度卒業論文一覧

●卒業論文

赤沢 佳恵子

岡山県・船穂町におけるブドウの生産と流通
池田 開

特産品産業からみた過疎地域における観光産業の実態 - 岡山県蒜山高原を事例として -

岡本 健裕

岡山県阿哲カルスト地域における土壌中二酸化炭素濃度と土地利用の関係

金瀬 祐子

倉敷市における中心商店街の実態 - 倉敷センター街商店街を事例として -

延崎 亮

町並み保存と住民の対応 - 岡山県川上郡成羽町吹屋の事例 -

原田 貴己

岡山市高島公民館における利用者の実態

李 建輝

中国・洛陽市の都市構造の変化

箱根巡検 - 2004 年度「地理学野外実習」

室長 松本 充康

まだ残暑が厳しい9月、私たち地理学教室のメンバーは地理学野外演習という授業の一環で箱根へ巡検に行きました。これは毎年恒例のもので前回は四泊五日で沖縄に行きましたが、今回は諸所の都合のため一泊二日と若干殺人的な日程となってしまいました。



13時に現地集合だったので、高速バスを使って前日の夜から出発した人もいたようですが、殆どの人は当日の朝、新幹線でラッシュアワーに巻き込まれながら箱根へと向かいました。集

合場所を間違えてしまい遅れた人もいましたが、無事全員集まった所で温泉地学研究所へと向かい、そこで勤務している人から箱根周辺の地質や地層を丁寧に説明して頂きました。この建物の一階には、地震が起こった時の写真や、そこで発掘されたものなど様々な資料が展示されており、私たちは時間が経つのを気にしながら見入っていました。

そこを後にして、宿泊先の旅館へとバスで向かいました。それは千石原の上の方にあつたので、曲がりくねった道で一時間もの間、三半規管を揺さぶられることになりました。バスからは仙石原の雄大な草原が見え、いろんな思いとモノがこみ上げてくるようでした。



旅館に着くと、夕飯までは自由時間だったので、私は真っ先に風呂に入りました。風呂から上がると、慣れない早起きをしたこともあって、私の部屋の人たちはすっかり眠りこけてしまいました。夕飯が終わり、各自思い思いの時間を過ごし、初日を終えました。

二日目の午前中は自由行動で、皆さん早起きして大涌谷に行くなど箱根の自然を満喫したようです。私の部屋の人たちのほとんどは、チェックアウトぎりぎりまで寝ていて時間が無かったので、旅館を出てバスで芦ノ湖に向かい、そこから船に乗り、集合場所である関所に行くこ

とにしました。

芦ノ湖に着き、船着場でしばらく待っていると、極彩色のなんとも見事な船が目飛び込んできました。17世紀頃の海賊船を模しているというそれが、深い緑の山に囲まれた、青い湖の上を進む様は、ある意味一見の価値があるように思います。私たちは一番下の一番安い客室に乗り込み、その窓から上の方を見ていました。

そして関所に皆が集まり、関所の歴史を学び、茶屋で団子を食べ、解散しました。

今回はあまり時間が取れなかったこともあり、少し後悔の残るものとなってしまいましたが、



今回はこの経験を活かし、さらに有意義なものとして欲しいと願っています。



地理学教室からのご連絡

○地理学教室ではホームページを開設しております。最近のトピックスや研究会のご案内などを行っております。ホームページアドレスは <http://www.okayama-u.ac.jp/user/1e/geog/01geo.html> です。

○地理学談話会は当日ご参加頂きました卒業生の皆様方の参加費を元に運営しております。談話会存続のためにも、なにとぞ、談話会へのご参加をお願い申し上げます。

○毎年、談話会のご案内を卒業生の皆様へお送りしておりますが、宛先不明の方も少なくありません。同級生もしくは先輩・後輩のお知り合いの方でこの度のお知らせが未着の方がいらっしゃいましたら、是非とも地理学教室までご連絡先をお知らせ頂きますようお願いできれば幸いです。